通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

通話内容を録音する

操作のしかた

1 通話中に

［登録］を押し、

［◇］で「ロクオン」を選ぶ

<トウロク>
3：ロクオン

●内線通話中は、通話録音できません。

2 ［決定/FAXスタート］を押して録音を開始する

ツウワ　ロクオン中

録音をやめるときは［停止］を押す

●録音が終わったら、時刻と件数が自動的に録音されます。（タイムスタンプ機能）
また、留守設定時に録音すると、ディスプレイが点滅し、留守設定解除時はディスプレイに「ミサイセイ　ロクオンガアリマス」と表示されます。

伝言メモを録音する

操作のしかた

1 受話器を取る

2 ［登録］を押し、［◇］で「ロクオン」を選ぶ

<トウロク>
3：ロクオン

3 ［決定/FAXスタート］を押し、受話器で伝言を話す

4 話し終わったら

［停止］を押してから、受話器を置く

●録音が終わったら、時刻と件数が自動的に録音されます。（タイムスタンプ機能）
また、留守設定時に録音すると、ディスプレイが点滅し、留守設定解除時はディスプレイに「ミサイセイ　ロクオンガアリマス」と表示されます。

■ **録音内容を再生するときは**
（☞68～69ページ）

■ **録音内容を消去するときは****（☞70ページ）**

■ **伝言メモを録音中に電話がかかってきたときは**
録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

お知らせ

● 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
● ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

読上げボイス設定を解除／設定する

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせすることができます。
工場出荷時は読上げボイスダイヤルが設定されていません。

操作のしかた

1 登録 **を押し、** ◎ **で「オト　カンレン セッテイ」を選ぶ**

<トウロク>
2：オト　カンレン　セッテイ

2 決定/FAXスタート **を押し、「ヨミアゲボイス セッテイ」を選ぶ**

<オト　カンレン　セッテイ>
4：ヨミアゲ ボ イス　セッテイ

3 決定/FAXスタート **を押し、「アリ」を選ぶ**

<ヨミアゲ ボ イス　セッテイ>
1：アリ　2：ナシ

- 「アリ」：読上げボイスダイヤル機能を使用します。
- 「ナシ」：読上げボイスダイヤル機能を使用しません。

4 決定/FAXスタート **を押す**

5 停止 **を押す**

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞32ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ **読上げボイスダイヤル機能でのボタンの読み方**

1 ア	「イチ」	8 ヤ	「ハチ」
2 カ	「ニ」	9 ラ	「キュウ」
3 サ	「サン」	0 ワ	「ゼロ」
4 タ	「ヨン」	トーン ＊ ゛゜	「スター」
5 ナ	「ゴ」	#	「シャープ」
6 ハ	「ロク」	再ダイヤル	「ポーズ」
7 マ	「ナナ」		

お知らせ

- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
- ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を設定／解除することはできません。

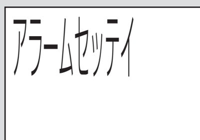
モーニングコールを利用する（子機）

モーニングコールを設定する

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（約５分間隔で1分間鳴り７回くり返します。）

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

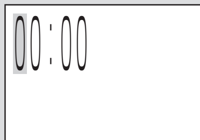
1 機能 **を押し、** ダイヤル **で「アラーム セッテイ」を 選ぶ**



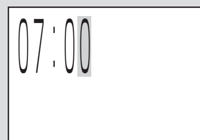
2 機能 **を押し、** ダイヤル **で「ON」を 選ぶ**



3 機能 **を押す**



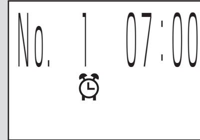
4 アラーム時刻を ダイヤルボタン で入力する （24 時間制で4 ケタ入力します）



●すでに設定している時刻を変更するときは、ダイヤルで変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 機能 **を押す**

●⏰マークが表示されます。



■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **毎日モーニングコールをご利用になるときは**

モーニングコールの設定は、アラーム音でのお知らせを７回くり返したあとは自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときは、毎日設定してください。

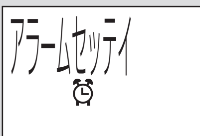
■ **モーニングコールの音を途中で止めるときは**

モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約５分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

モーニングコールを解除する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押し、** ダイヤル **で「アラーム セッテイ」を選ぶ**



2 機能 **を押し、** ダイヤル **で「OFF」を 選ぶ**



3 機能 **を押す**

●⏰マークが消えます。

お知らせ

- 子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞34ページ）、モーニングコールを設定してください。
- モーニングコールを設定したあとに、子機の時刻合わせを行うと、モーニングコールは解除されます。
- アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。「切」に設定しているときは「小」の大きさで鳴ります。
- アラームが動作中に子機を充電器から取るなど何かの操作を行うとアラームは停止し子機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もアラームは停止します。

親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

メモリー受信を設定する

はたらき	いったんメモリーで受信します。記録紙やインクリボンがなくなったときは、受信した内容はメモリーに記録しています。 ・**スル**　メモリーで受信します。 ・**シナイ**　直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは、ファクス受信できません。 ・**ジドウ**　メモリー受信中にメモリーがいっぱいになると、次に受信するときに、メモリー受信せずに直接記録紙にプリントします。
手順	親機で設定します 登録 → 「**ショウサイ　セッテイ**」を選ぶ → 決定/FAXスタート → 「**FAX／コピー**」を選ぶ → 決定/FAXスタート → 「**メモリージュシン**」を選ぶ → 決定/FAXスタート → 1：スル　2：シナイ　3：ジドウ　から選ぶ → 決定/FAXスタート → 停止

キータッチ音を設定する

はたらき	親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**アリ**　親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**ナシ**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。
手順	親機で設定します 登録 → 「**ショウサイ　セッテイ**」を選ぶ → 決定/FAXスタート → 「**キータッチオン**」を選ぶ → 決定/FAXスタート → 1：アリ　2：ナシ　のどちらかを選ぶ → 決定/FAXスタート → 停止

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

を押します。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

クイック通話を設定する

はたらき	子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。 ・ON　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 ・OFF　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。
手順	子機で設定します 通話ボタンを消灯した状態で → 機能 → 「**クイックツウワ**」を選ぶ → 機能 → → マルチファンクションキーの で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ → 機能

キータッチ音を設定する

はたらき	子機のボタンを押したときに、「ピッ」音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・ON　子機のボタンを押したときに「ピッ」音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・OFF　「ピッ」音（キータッチトーン）は鳴りません。
手順	子機で設定します 通話ボタンを消灯した状態で → 機能 → 「**キータッチトーン**」を選ぶ → 機能 → → マルチファンクションキーの で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ → 機能

待ち受け時間を選ぶ

はたらき	充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。 ・**ヒョウジュン**　待ち受け時間は約 200 時間になります。 ・**チョウジカン**　待ち受け時間は約 240 時間になります。 （「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の呼出音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり呼出音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。
手順	子機で設定します 通話ボタンを消灯した状態で → 機能 → 「**マチウケジカン**」を選ぶ → 機能 → → マルチファンクションキーの で 「**ヒョウジュン**」「**チョウジカン**」のどちらかを選ぶ → 機能

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

UX-F14CL

付属の子機	増設した子機
子機番号 ①	子機番号 ② ③ ④

UX-F14CW

付属の子機	増設した子機
子機番号 ① ②	子機番号 ③ ④

- 子機は、付属の子機以外に３台まで、UX-F14CWは２台まで増設することができます。

子機を増設しても子機間通話はできません※

- 増設できる子機はCJ-KS4、CJ-KS7、CJ-KS50、CJ-KS50B、CJ-KS80です。また、BS/CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。（CJ-KS80、CJ-KS50、CJ-KS50B以外の子機では、増設登録手順タイプＡと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-F14CL/UX-F14CWに増設した場合の機能比較

	機種名 / 機能名	付属の子機	CJ-KS4	CJ-KS7	CJ-KS50 CJ-KS50B	CJ-KS80	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	57
電話機能	電話帳転送（親機⇔子機）	○	○	○	○	○	63
電話機能	再ダイヤル	○（3件）	○（3件）	○（10件）	○（3件）	○（10件）	44
電話機能	ダイヤルボタン点灯	×	×	○	×	○	－
電話機能	優先呼出	○	○	○	○	○	41
電話機能	モーニングコール	○	○	○	○	○	91
電話機能	子機間通話（トランシーバー方式）	×	×	×	○※	○※	－
電話機能	子機間ひと声通知	○	○	○	×※	×※	49
電話機能	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・大・標準	33
ナンバー・ディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	○	105
ナンバー・ディスプレイ関連	着信記録	○	○	○	○	○	113
ナンバー・ディスプレイ関連	着信鳴り分け	○	○	○	○	○	119

※両方の子機がCJ-KS50、CJ-KS50BまたはCJ-KS80の子機間通話はトランシーバー方式になります。片方の子機がCJ-KS50、CJ-KS50BまたはCJ-KS80以外のときは、子機間ひと声通知ができます。

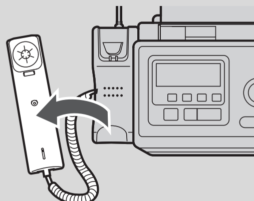
プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

親機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 受話器を取る



2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン ＊ を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 通話 を押す

- 子機を置いたまま電話をかけるときはオンフックボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン ＊ を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約の方でも、トーン ＊ （親機の場合）または トーン ＊ （子機の場合）を押すと、このトーン信号を出すことができます。（子機では「ピッ、ポッ、パッ」の音は聞こえません。）

お知らせ

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。（読上げボイスダイヤルの設定は「なし」にしてください。）



キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。

親機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に呼出音が聞こえたら



を押す



●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

2 もとの通話に戻るときはもう一度



を押す

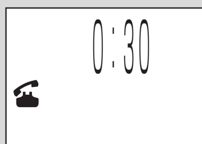
子機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に呼出音が聞こえたら



を押す



●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

2 もとの通話に戻るときはもう一度



を押す

■ **キャッチホン・ディスプレイを契約するときは（☞109ページ）**

■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは（☞156ページ）**
キャッチホンの切替時間を変えることができます。

お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、決定／FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを契約すると、呼出音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞109〜111ページ）

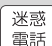
迷惑電話にお断りメッセージを流す

いたずら電話や無言電話などの迷惑電話を受けたとき、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ります。
ナンバー・ディスプレイ利用時（☞105ページ）は、電話が切れたあと自動的にその番号をお断り番号に登録して、以降の同じ番号からの着信をお断りします。
また、非通知や公衆電話／表示圏外からの着信だったときは、設定した一定時間だけ、同じ種別の着信をお断りします。（迷惑電話拒否機能）

親機でお断りメッセージを流す

操作のしかた

1 お断りしたい相手先との通話中に



を押す

■ **まちがえて迷惑電話ボタンを押してしまったときは**
お断りメッセージが流れている間に受話器を取る（受話器を取っているときは一度戻してから取る）と、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。

2 相手先に
お断りメッセージが3回流れたあと、自動的に電話が切れる

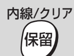
お断りメッセージ
「この電話は、
お受けすることはできません。」

●お断りメッセージが流れている間に受話器を取る（受話器を取っているときは一度戻してから取る）と、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。

子機でお断りメッセージを流す

操作のしかた

1 お断りしたい相手先との通話中に



を押す

●通話が保留状態になります。

2 

を押す

■ **まちがえてお断りの操作をしてしまったときは**
お断りメッセージが流れている間に充電器から取って通話ボタンを押すと、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。

3 相手先に
お断りメッセージが3回流れたあと、自動的に電話が切れる

お断りメッセージ
「この電話は、
お受けすることはできません。」

●お断りメッセージが流れている間に子機を充電器から取って通話ボタンを押すと、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。

迷惑電話にお断りメッセージを流す

ナンバー・ディスプレイを利用しているときは

「親機でお断りメッセージを流す」(☞97 ページ)
「子機でお断りメッセージを流す」(☞97ページ)
の操作をしたあと

自動的にお断りが設定される

●相手先の番号が通知されていたときは
その番号がお断り番号 (☞122ページ) として登録されます。(最大30件)

●非通知や公衆電話／表示圏外からの着信のときは
対応したお断り（☞120、121ページ）が設定した一定時間だけ（工場出荷時は2時間）設定されます。

■ お断りが解除されるまでの時間を変更するときは

お断りが解除されるまでの時間を親機で変更することができます。はじめは2時間に設定されています。

① [登録] を押し、[◇] で「サービス　リヨウセッテイ」を選ぶ
② [決定 FAXスタート] を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ
③ [決定 FAXスタート] を押し、[◇] で「オコトワリジカン」を選ぶ
④ [決定 FAXスタート] を押し、[◇] で「ナシ」「2ジカン」「6ジカン」のいずれかを選ぶ

「ナシ」に設定すると、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ったあと、お断りには設定されません。ただし、相手先の番号が通知されていたときは、お断り番号に設定されます。

⑤ [決定 FAXスタート] を押す
⑥ [停止] を押す

■ まちがえて相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞123ページ)。
また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストを印刷（☞123ページ）して確認してください。

■ まちがえて非通知や公衆電話／表示圏外のお断りが設定されてしまったときは

非通知お断り、公衆電話／表示圏外のお断り設定を「ナシ」に設定し直してください (☞121ページ)。

お知らせ

● お断りメッセージを中断し、相手先と通話したときは、お断りの自動設定はされません。

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

オリジナルメロディーについて

子機では、電話がかかってきたときの呼出音メロディーを自分で作成することができます。（着信メロディー作曲機能）
作成したメロディーは、子機の呼出音としてお使いいただけます。

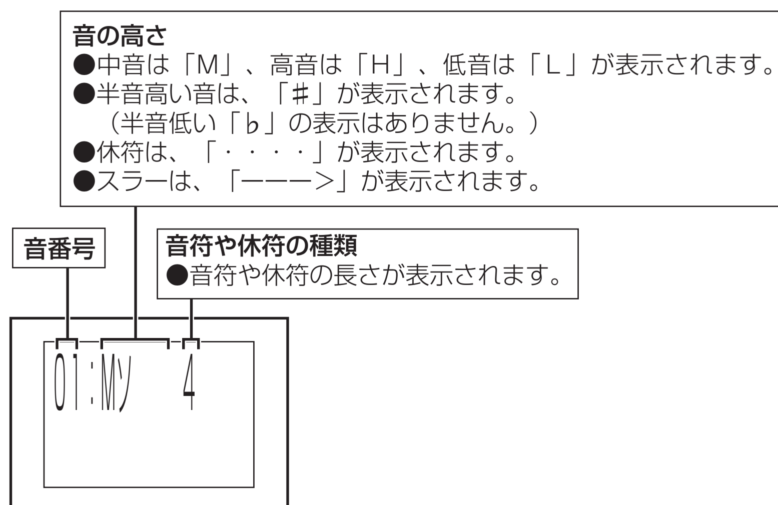
■入力できる音の高さ
次の高さの音が入力できます。（3オクターブの範囲です。半音も使えます。）



■入力できる音符・休符
次の音符や休符が入力できます。

ディスプレイ表示	音符	休符	長さ	ディスプレイ表示	音符	休符	長さ
1	𝅝	𝄻	全音符（休符）	4.	𝅘𝅥.	𝄽.	付点4分音符（休符）
16	𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	2	𝅗𝅥	𝄼	2分音符（休符）
16.	𝅘𝅥𝅯.	𝄿.	付点16分音符（休符）	2.	𝅗𝅥.	𝄼.	付点2分音符（休符）
8	𝅘𝅥𝅮	𝄾	8分音符（休符）	16_3	3連符	—	16分3連符
8.	𝅘𝅥𝅮.	𝄾.	付点8分音符（休符）	8_3	3連符	—	8分3連符
4	𝅘𝅥	𝄽	4分音符（休符）	4_3	3連符	—	4分3連符

■入力画面のしくみ



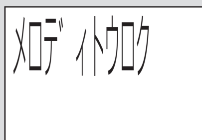
自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

オリジナルメロディーを作る

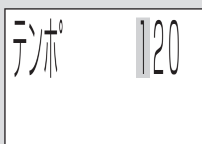
呼出音（オリジナルメロディー）を作る操作です。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

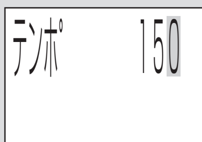
1 （機能）を押し、（▲▼）で「メロディトウロク」を選ぶ



2 （機能）を押す

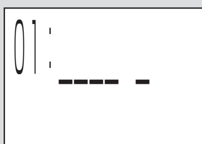


3 ダイヤルボタンでテンポを入力する（40～190）



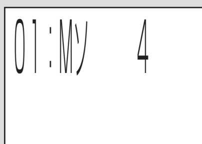
- はじめは120になっています。（数値が大きい方がテンポが速くなります。）
- （▲▼）で、テンポを調整することもできます。このときは4テンポ間隔となります。（最小40、最大190まで）
- （◀▶）でカーソルを動かせます。

4 （機能）を押す



- メロディーの入力画面になります。

5 ダイヤルボタンでメロディーを入力する



6 次の音を入力するときは

**を押す**

- 音符や休符の種類を指定したあとや1つ前の音とちがうボタンで音の高さや休符を指定するときは、この操作は必要ありません。

7 手順5～6をくり返して、すべてのメロディーを入力する（最大60音）

- メロディーを途中で確認するときは、カナ/キャッチボタンを押すと、入力したところまでのメロディーが確認できます。
- メロディーを修正するときは、（▲▼）で、修正したい音を表示させたあと、クリアボタンを押して入れ直します。

8 すべてのメロディーを入力したら

**を押す**

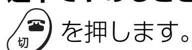
- 作り終わったオリジナルメロディーをすぐに変更するときは、このあと（▲▼）で、「ヘンコウ」を選んだあと、機能ボタンを押すと、手順3に戻ります。

9 （▲▼）で「トウロク」を選び、（機能）を押す



- このあと、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**



■ **ダイヤルボタンでメロディーを入力するときは**
（☞101ページ）

■ **登録済みのオリジナルメロディーを変更／修正するときは**

上記「オリジナルメロディーを作る」の手順で、登録済みのメロディーの変更画面を表示したあと、音の削除や追加を行って、メロディーを変更／修正します。
操作は新規登録時と同じです。

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

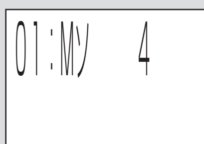
オリジナルメロディーを入力する

メロディーを入力するには、ダイヤルボタンを使って、音の高さ（ド〜シ）や休符、音の長さを入力します。各ダイヤルボタンには音の高さ（ド〜シ）や休符、音の長さを入力できるように割り当てられています。ボタンを押すごとに、入力が切り替わります。（入力割り当て表 ☞102ページ）

音の高さや休符を指定する

メロディーの入力画面にしたあと、ダイヤルボタンで入力します。

●ボタンを１回押すと、中音で４分音符が指定されます。
同じボタンをくり返し押すと、同じ音で半音や１オクターブ上または下の音が入力できます。
（例）中音「ソ」４分音符

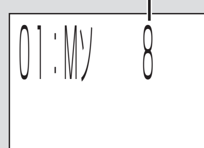


9/＊/＃ は、音符や休符を選んでいるときのみ有効となります。

音符や休符の種類を指定する

＊ または ＃をくり返し押し、音符や休符の種類を指定します。

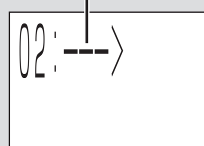
●休符の場合も、音符の指定と同様になります。
（例）中音「ソ」８分音符



音をのばすとき（スラーの指定）

音符を選んだあと、8 を押します。

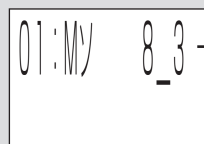
●「―――>」が表示されます。
次の音となめらかにつながるようになります。

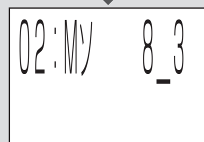


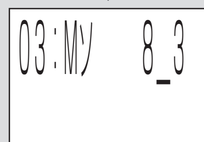
符点付きの音符や３連符にするとき

音符を選んだあと、9 を押し付点や３連符を指定します。

（例）中音「ソ」の８分の３連符（♫）の場合３連符を指定した「ソ」を３つ入力します。







■ **作ったメロディーを利用するときは**

「子機の呼出音の種類を変える」（☞31ページ）の手順３でオリジナルメロディーを選びます。

■ **オリジナルメロディーを消去するときは**

① 機能 を押し、▲▼ で「メロディショウキョ」を選ぶ

② 機能 を押す

③ もう一度、機能 を押す

■ **新しくメロディーを登録したいときは**

上記「■オリジナルメロディーを消去するときは」の手順で登録済みのメロディーを消去してから、「オリジナルメロディーを作る」（☞100ページ）の手順で作り直します。

お知らせ

● 登録中に電話がかかってくると、入力中のメロディーは、登録されません。はじめからやり直してください。

● 操作の途中で１分以上何もしないでおくと、待受画面に戻ります。このときは、はじめからやり直してください。

自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）

押すボタン	音階	表示（M：中音／H：高音／L低音／♯：半音）
1ア	ド	Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド#
2カ ABC	レ	Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ#
3サ DEF	ミ	Mミ → Hミ → Lミ
4タ GHI	ファ	Mファ→Mファ#→Hファ→Hファ#→Lファ→Lファ#
5ナ JKL	ソ	Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ#
6ハ MNO	ラ	Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ#
7マ PQRS	シ	Mシ → Hシ → Lシ
8ヤ TUV		———＞（スラー） → （スラーなし）
9ラ WXYZ		※1 .（付点） → ※2 ＿3（3連符） → （なし）
0ワ 記号	休符	・・・・
トーン ＊		8（8分音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 2（2分音符／休符） → 4（4分音符／休符）
#		2（2分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 8（8分音符／休符） → 4（4分音符／休符）

※1 付点は、2分音符（2分休符）、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。
※2 3連符は、4分音符（4分休符）、8分音符（8分休符）、16分音符（16分休符）にのみ有効です。

メロディーを入力中に次のボタンを使って、メロディーの確認や変更ができます。

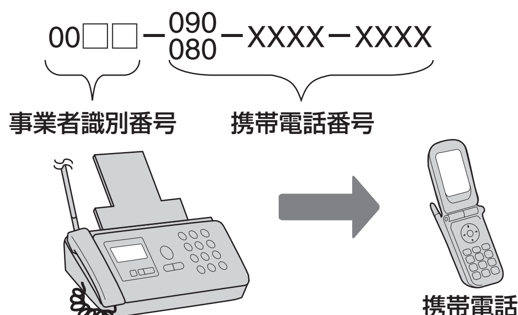
押すボタン	機　　能
内線/クリア 保留	＜短く押す＞選択中の1音を削除 ＜2秒以上押す＞全音削除
カナ/キャッチ	メロディー確認
（上下ボタン）	音符スクロール

お知らせ

- 「ミ」または「シ」は、半音上げることはできません。
- 「♯：シャープ」は、音を半音上げます。「♭：フラット」は、半音下げます。「♭」にするときは、1つ下の音階を入力したあと、半音上げてください。（例：「Mシ♭」は「Mラ♯」と入力します。）

携帯とくとくダイヤル機能を利用する

携帯電話への通話料金がおトクになるサービス※は、携帯電話番号の前に「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができるサービスです。
利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。（2004年4月1日よりサービス開始）



携帯とくとくダイヤル機能を使えば、発信ごとのダイヤル操作や個別の電話帳に登録をしなくても、あらかじめ登録しておいた「事業者識別番号」を自動的につけて、携帯電話へ発信します。

IP電話をご利用の方へ

IP電話と本サービス実施事業者の料金を比較してご利用ください。IP電話事業者によっては、お安くならない場合があります。
機能をご利用になるときは、「IP電話の解除設定をする（携帯とくとくダイヤル機能ご利用時）」（☞156ページ）の設定で、「IPデンワリヨウ」を「アリ」に設定してお使いください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

携帯とくとくダイヤル機能とは

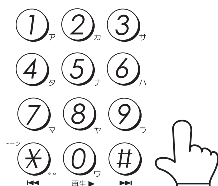
事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。
工場出荷時は、携帯とくとくダイヤル機能を、「利用しない」設定になっています。

（例）「NTT東日本0036」を登録したとき

8月10日 2:45PM

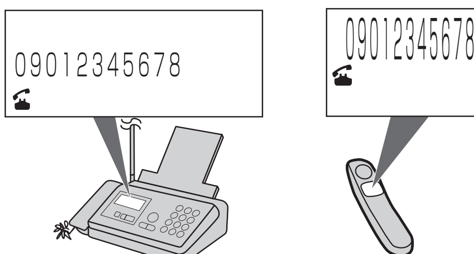
※携帯とくとくダイヤル設定マークが親機液晶画面に表示されます。

090-1234-5678 とダイヤルすると



自動的に0036を付加

0036-090-1234-5678 と発信

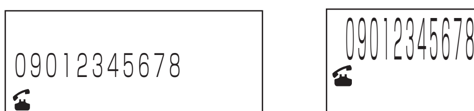


※本機能により、0036等を付加して発信する場合も親機、子機の液晶画面には携帯電話番号のみ表示されます。

090-1234-5678 を電話帳、ホットラインダイヤル、再ダイヤルや着信記録などから発信すると

自動的に0036を付加

ダイヤル時に 0036-090-1234-5678 と発信



090-1234-5678 の頭に「184」（非通知）や「186」（通知）をつけてダイヤルすると

「184」や「186」のあとに、自動的に0036を付加

（「184」をつけたとき）
184-0036-090-1234-5678 と発信



携帯とくとくダイヤル機能を利用する

携帯とくとくダイヤル機能を設定する

操作のしかた

1 登録 を押し、 で「サービス リヨウセッテイ」を選ぶ

<トウロク>
8:サービス リヨウセッテイ

2 決定/FAXスタート を押し、 で「ケイタイトクトクダイヤル」を選ぶ

NTT東日本、NTT西日本のサービスをご利用の場合

3 決定/FAXスタート を押し、 で事業者番号を選ぶ

（例）NTT東日本のサービスをご利用の場合

<ケイタイトクトクダイヤル>
1:NTTヒガシニホン0036

- ●NTT東日本のサービスはNTT東日本サービス提供エリア内のみとなります。
- ●NTT西日本のサービスはNTT西日本サービス提供エリア内のみとなります。

NTT東日本、NTT西日本以外のその他の事業者をご利用の場合

3 決定/FAXスタート を押し、 で「ソノタジギョウシャ」を選ぶ

（例）その他事業者のサービスをご利用の場合

<ケイタイトクトクダイヤル>
3:ソノタ ジギョウシャ

↓

決定/FAXスタート を押し、事業者番号を入れる（最大6ケタ）

<ケイタイトクトクダイヤル>
No. =

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

を押します。（番号入力時は、キャッチ/消去 を押すと戻ります。）

4 決定/FAXスタート を押す

5 停止 を押す

- ●事業者番号が正しく設定されていないときなど、電話がかからないことがあります。
- ●携帯電話をお持ちの方は、設定したあと、携帯電話へ電話をかけてお確かめになることをおすすめします。

IP電話をお使いで、携帯電話へのダイヤルをIP電話ではなく携帯とくとくダイヤルでご利用になる場合は、「IP電話の解除設定をする（携帯とくとくダイヤルご利用時）」（☞156ページ）の設定をしてください。

■ **携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは**

手順3で「セッテイ　シナイ」を選び、決定/FAXスタート を押します。

■ **一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは**

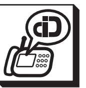
解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

お知らせ

- ● 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
- ● 通話先・通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
- ● 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
  こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
- ● 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- ● 本サービスは、マイラインの対象になりません。
- ● 他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイを利用する



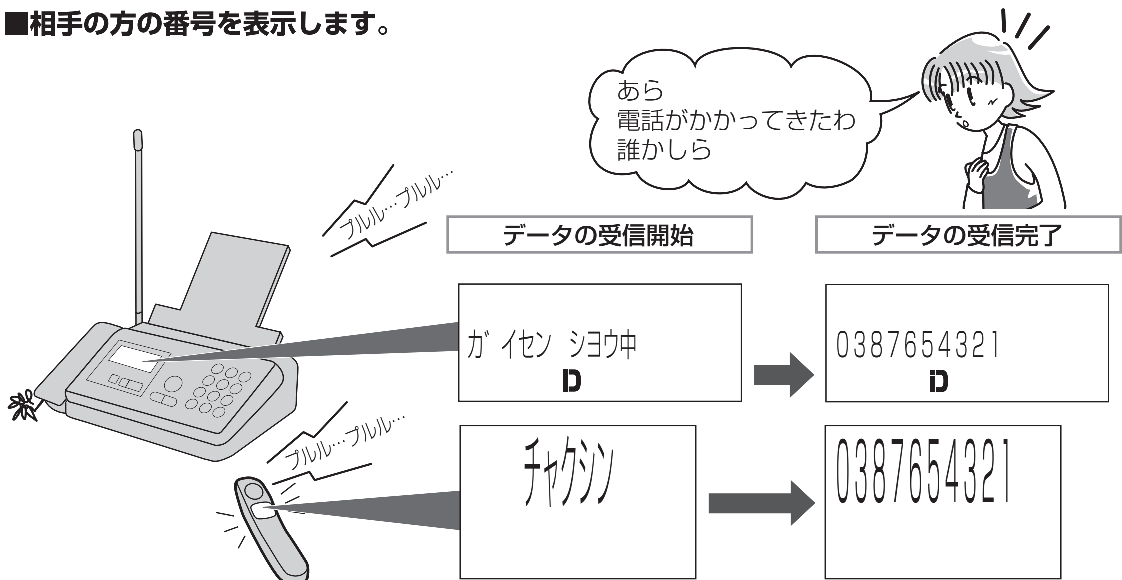
ナンバー・ディスプレイとは、かかってきた相手の方の電話番号を表示するサービスです。

このサービスをご利用の際は、利用契約が必要ですので、詳しくはNTTの窓口へお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、必ずナンバー・ディスプレイを「スル」に設定してください。(☞106ページ)
ナンバー・ディスプレイの設定は、はじめは「スル」に設定されています。

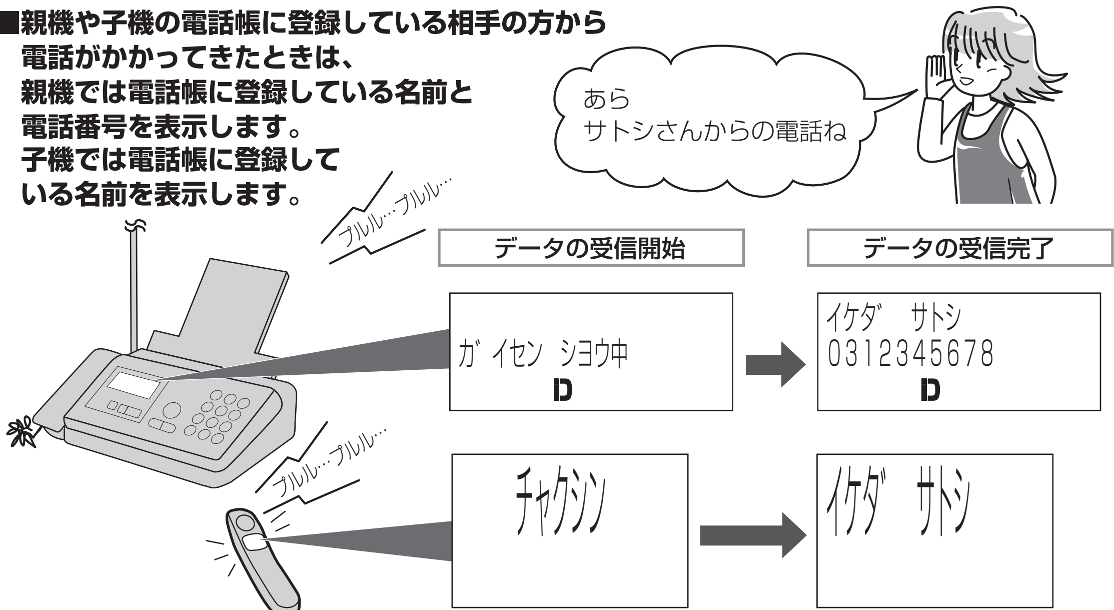


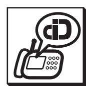
電話がかかってくると…

■相手の方の番号を表示します。



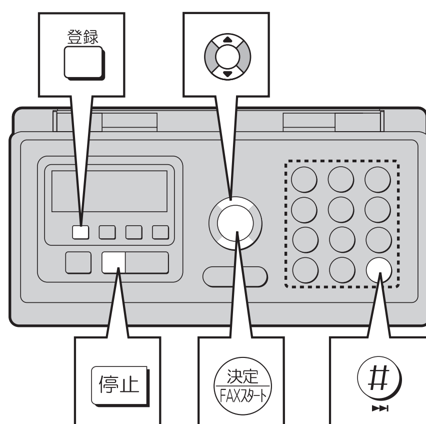
■親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を表示します。子機では電話帳に登録している名前を表示します。





ナンバー・ディスプレイを利用設定する

初期設定では、ナンバー・ディスプレイを「利用する」設定になっています。設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。



操作のしかた

1 登録 **を押し、** # **を4回押す**

<トウロク>
1：トクベツセッテイ

2 決定/FAXスタート **を押し、** ◎ **で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ**

<トクベツセッテイ>
4：ナンバーディスプレイ

3 決定/FAXスタート **を押し、「スル」を選び、再び** 決定/FAXスタート **を押す**

<ナンバーディスプレイ>
1：スル　2：シナイ

- はじめは「スル」になっています。
- **ナンバー・ディスプレイを利用しないとき**は、「シナイ」を選び、決定／FAXスタートボタンを押します。

4 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**

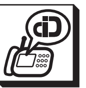
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◎ を押します。

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの利用設定を「スル」に設定しても、すぐにディスプレイにはiDマークは表示されません。
設定後一度着信すると、iDマークが表示されます。
- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを「使用しない」設定にしてください。
- ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。



着信鳴り分けを設定したときは

電話がかかってきたときに、親機は、親機の電話帳に登録されている方に、子機は、着信の種類に合わせて呼出音の鳴り方を変えてお知らせします。(☞118〜119ページ)

非通知お断りを設定したときは

相手の方が番号非通知（「184をダイヤル」または、「通常非通知」（回線ごと非通知））で、電話をかけてくると、こちら側では呼出音が鳴らずにお断りのメッセージを流すことができます。(☞120〜121ページ)

公衆電話／表示圏外お断りを設定したときは

相手の方が公衆電話やサービスを行っていない地域から電話をかけてきたとき、また、サービスの契約条件等により番号が表示できないとき（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）、こちら側では呼出音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます。(☞120〜121ページ)

お断りする番号を登録したときは

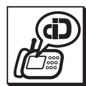
あらかじめ特定の番号を登録しておくと、登録した相手の方から電話がかかってきたときに呼出音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。(☞122〜123ページ)

かかってきた電話をその場でお断りしたときは

迷惑電話を受けたときに、その場でお断りメッセージを流して電話を切ることができます。さらに着信の種類や相手の番号を判断し、上記のお断り設定を自動的に行います。(☞97〜98ページ)

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定（☞106ページ）を「シナイ」に設定していると、電話がかかってきたときに、はじめに短い呼出音が5〜6回鳴り、このときに電話に出ると切れてしまいます。このあと通常の呼出音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、在宅モード時のコール回数（☞87ページ）や、留守モード時のコール回数（☞66ページ）を2回以上に設定してください。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは、親機では16ケタ、子機では12ケタまでです。（子機で12ケタを超える電話番号は最初から12ケタを表示します）
- 内線通話中に電話がかかってきたときは、着信表示されません。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- 同じ番号を親機や子機の電話帳に登録すると、ナンバー・ディスプレイの名前表示（親機や子機の電話帳に登録している相手の方からの名前表示）が正常に動作しないことがあります。
- 相手の方が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に相手の方につながるまでの時間が長くなることがあります。
- 1本の電話回線に2台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。



電話がかかってきたときの画面表示について

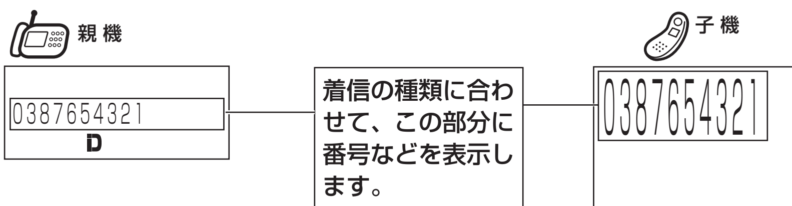
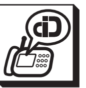


表　示	着　信　情　報
親機　子機 「0387654321」など （電話番号）	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親機 「イケダ　サトシ 0387654321」など （相手の方の名前と電話番号） 子機 「イケダ サトシ」など （相手の方の名前）	親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、親機では名前と電話番号を表示し、子機では名前を表示します。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。） **親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
親機 「ヒツウチ」 子機 「ーヒツウチー」	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親機 「ヒョウジケンガイ」 子機 「ーヒョウジケンガイー」	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します。（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）
親機 「コウシュウデンワ」 子機 「ーコウシュウデンワー」	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「ヒツウチ」になります。
親機 「ジュシンエラー」 子機 「ージュシンエラーー」	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。
親機 「ガイセン　シヨウ中」 子機 「チャクシン」	呼出音が鳴る前に、NTT から相手の電話番号データを受信しています。この表示のときは、電話に出ることもかけることもできません。

キャッチホン・ディスプレイを利用する



NTTのキャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます。

■ **このサービスをご利用の際は、①～③のサービスへの利用契約が必要です。**

①ナンバー・ディスプレイ（有料）
②キャッチホン・ディスプレイ（有料）
③キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

■ **サービスを契約したあとは、2つの設定をする必要があります。**

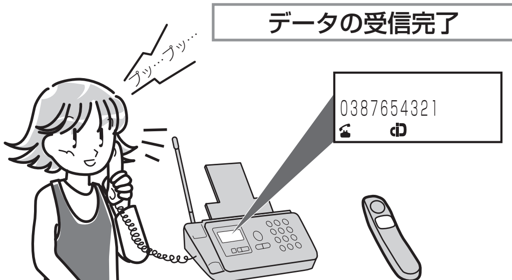
・必ずキャッチホン・ディスプレイの利用設定を「スル」に設定してください。（☞110ページ）
また、ナンバー・ディスプレイの利用設定が「スル」になっていることを確認してください。
（☞106ページ）

通話中に電話がかかってくると…

■通話中に電話がかかってくると、相手の方の番号を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の番号を表示して、子機には表示しません。



子機で通話中に受けたときは

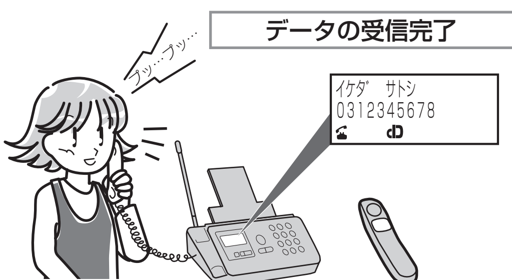
子機のみ相手の方の番号を表示して、親機には表示しません。



■親機や子機の電話帳に登録している相手の方から通話中に電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を表示します。子機では電話帳に登録している名前を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の名前と電話番号を表示して、子機には表示しません。



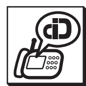
子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の名前を表示して、親機には表示しません。



お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイで電話を受けたときは、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります。（☞112～113ページ）
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは親機では16ケタですが、子機では12ケタまでです。
- 親機・子機の両方で名前を表示するためには、それぞれ両方の電話帳に名前と電話番号を登録してください。



キャッチホン・ディスプレイを利用設定する

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、設定を必ず「スル」にしてください。
（はじめは、「シナイ」に設定されています。）
※サービスを契約しているのに、「シナイ」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

操作のしかた

1 登録 を押し、 で「サービスリヨウセッテイ」を選ぶ

<トウロク>
8：サービス リヨウセッテイ

2 決定FAXスタート を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

<サービス リヨウセッテイ>
1：ナンバーディスプレイ

3 決定FAXスタート を押し、 で「キャッチホンディスプレイ」を選ぶ

<ナンバーディスプレイ>
3：キャッチホンディスプレイ

4 決定FAXスタート を押し、 で「スル」を選ぶ

<キャッチホンディスプレイ>
1：スル 2：シナイ

●キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは、「シナイ」を選び、決定／FAXスタートボタンを押します。

5 決定FAXスタート を押す

スル ニ シマシタ

●「スル」に設定されます。

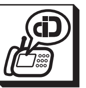
6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
を押します。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
  - ·ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
  - ·キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入らなくなりますので番号表示されません。
  - ·キャッチ／消去ボタンを利用した後のみ、「おまかせ受信」機能が働きません。（ファクス受信するときは、決定／FAXスタートボタンを押してください。）
- 通話中にキャッチホン着信が入ると、約1秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
- キャッチホン・ディスプレイの利用設定を「スル」に設定しても、すぐにディスプレイにはマークは表示されません。設定後一度着信すると、マークが表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイを契約後に、「シナイ」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあとキャッチホンの呼出音が鳴ります。
- キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知お断り、公衆電話／表示圏外お断り、特定お断り番号などは働きません。（相手の方にメッセージは聞こえません。）
- キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は、利用設定を「シナイ」に設定してください。お話し中の声で、キャッチホン・ディスプレイが働いて通話が途切れてしまうことがあります。
- 1本の電話回線に2台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- 通話中の声により通話が途切れる場合があります。
- キャッチホン着信時には、1秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。また、従来の着信表示音に加えて「ピッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なりますと電話番号の表示ができないことがあります。



通話中に電話がかかってきたときの画面表示について

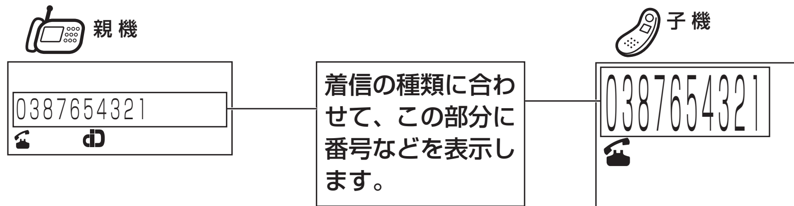
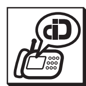


表　示	着　信　情　報
親機　子機 「0387654321」など （電話番号）	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親機 「イケダ サトシ 0387654321」など （相手の方の名前と電話番号） 子機 「イケダ サトシ」など （相手の方の名前）	親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、親機では名前と電話番号を表示し、子機では名前を表示します。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。） **親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
親機 「ヒツウチ」 子機 「ーヒツウチー」	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親機 「ヒョウジケンガイ」 子機 「ーヒョウジケンガイー」	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときや、サービスの契約条件等により、番号が表示できないとき表示します。 （国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など）
親機 「コウシュウデンワ」 子機 「ーコウシュウデンワー」	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「ヒツウチ」になります。
親機 「ジュシンエラー」 子機 「ージュシンエラーー」	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの割り込み着信表示は、親機（20秒）／子機（30秒）表示して、通話中表示に戻ります。
- 次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
  - ･大きな声で通話しているとき
  - ･周囲が騒がしいとき
  - ･設置場所からNTTの交換機まで距離が離れすぎているとき
- 保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。



着信記録を表示する

親機で着信記録を表示する

ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ（☞105〜111ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大20件まで記録されます。着信記録の番号や親機や子機の電話帳に登録している名前をディスプレイに表示することができます。20件を超えると古い着信記録から消去されます。

操作のしかた

1 登録 を押し、 で「チャクシン キロク」を選ぶ

<トウロク>
4：チャクシン キロク

2 決定/FAXスタート を押す

<チャクシン キロク>
イケダ　サトシ

●最後にかかってきた相手の方の番号（親機の電話帳に登録しているときは名前）と日付・時刻を切り替えて表示します。

3 で選ぶ

<チャクシン キロク>
09087654321

● を押すと1件新しい着信記録を表示します。

● を押すと1件古い着信記録を表示します。

■ **着信記録の表示をやめるときは**

停止 を押します。

■ **着信記録リストをプリントするには**

① 登録 を押し、 で「インサツ」を選ぶ

② 決定/FAXスタート を押し、 で「チャクシンキロク　リスト」を選ぶ

③ 決定/FAXスタート を押す

■ **親機の着信記録を1つだけ消去するときは**

① 登録 を押す

② で「チャクシン　キロク」を選ぶ

③ 決定/FAXスタート を押す

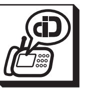
④ で、消去する着信記録を選んだあと、キャッチ/消去 を押す

⑤ もう一度、キャッチ/消去 を押す
（表示中の着信記録が一件、消去されます。）

⑥ 停止 を押す（すべての着信記録を消去したときは、自動的に待受画面に戻ります。）

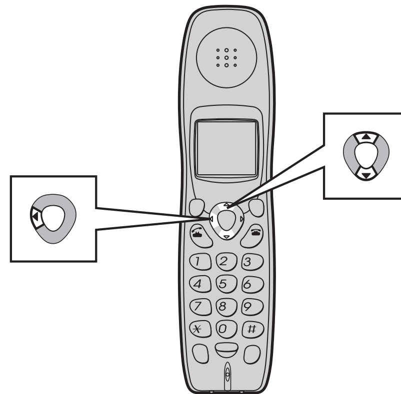
お知らせ

- 親機の着信記録を一度にすべて消去することはできません。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 「非通知お断り」「公衆電話／表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
- 発信者側で電話を切るタイミングによっては、表示が空白の着信記録が残ってしまうことがあります。
- 着信記録の番号を親機の電話帳に登録することができます。（☞117ページ）
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。（子機ではナンバー・ディスプレイに契約していないと、着信のあった日付・時刻を表示することはできません。）



子機で着信記録を表示する

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号や子機の電話帳に登録されている名前をディスプレイに表示することができます。20件を超えると古い着信記録から消去されます。



操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を2回押す



0312345678
着信記録

●最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
●再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

2 で選ぶ



イケダ　サトシ
着信記録

● を押すと１件新しい着信記録を表示します。
● を押すと１件古い着信記録を表示します。
●選んだあと を押すと着信のあった日付・時刻を表示します。

■ 着信記録の表示をやめるときは

を押します。

■ 子機の着信記録をすべて消すときは

① を消灯させた状態で、 を押す
② で「チャクシンキロククリア」を選ぶ
③ を押す
④ もう一度、 を押す

お知らせ

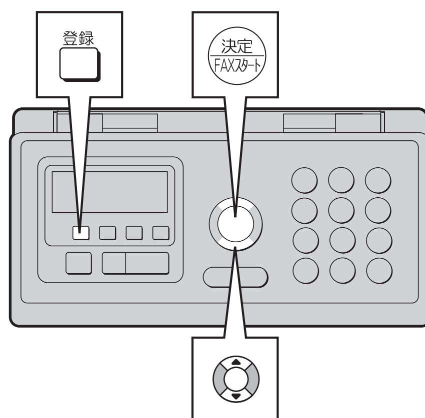
● 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
● 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」「公衆電話／表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
● 着信記録の番号を、子機の電話帳に登録することができます。(☞117ページ)
● 子機の着信記録を１件ずつ消すことはできません。



着信記録を使って電話をかける

親機で着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
20件を超えると古い着信記録から自動的に消去されます。



操作のしかた

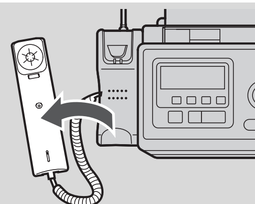
1 登録 を押し、 で「チャクシン キロク」を選ぶ

<トウロク>
4:チャクシン キロク

2 決定/FAXスタート を押す

<チャクシン キロク>
イケダ サトシ

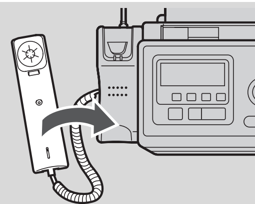
3 で選んだあと、受話器を取る



● を押すと1件古い着信記録が選択されます。

● を押すと1件新しい着信記録が選択されます。

4 通話が終わったら**受話器を戻す**



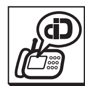
■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは**
① 受話器を取る
② 登録 を押したあと で「チャクシン キロク」を選んで 決定/FAXスタート を押す
③ で選んだあと、決定/FAXスタート を押す
④ 相手の方とお話しする
⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

■ **184(非通知)や186(通知)などをつけて電話をかけるときは**
左記の①のあとに「184」や「186」などをダイヤルして②~④の操作を行います。
(「184」や「186」などを親機が発信中のときは、②~④の操作を行うことができません。少し待ってから②~④の操作を行ってください。)

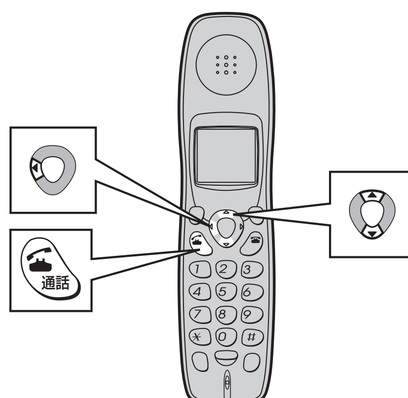
お知らせ

● 着信記録を使って電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
(「184」などダイヤルした番号では働きます)



子機で着信記録を使って電話をかける

子機でもかかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
20件を超えると古い着信記録から自動的に消去されます。



操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を2回押す



●最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
●再ダイヤルを消去しているときは を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。

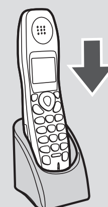
2 で選び、を押す



● を押すと１件古い着信記録を表示します。
● を押すと１件新しい着信記録を表示します。

■ 途中でやめるときは
を押します。

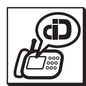
3 通話が終わったら
充電器に戻す



●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

お知らせ

● 親機・子機とも、発信電話番号情報がない場合や受信エラーなどのときは電話をかけることはできません。
● 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイには、親機では20ケタ表示しますが、子機では12ケタまでしか表示しません。
● 親機でコピー中・プリント中のときは、子機の使用はできません。



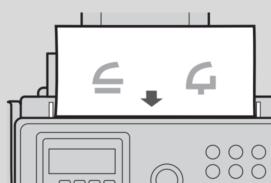
着信記録を使ってファクスを送る

親機で着信記録を使ってファクスを送る

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

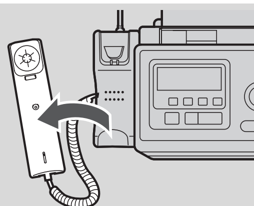
操作のしかた

1 原稿ガイドを合わせ**原稿をウラ向きにセットする**



●送信する面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質／カナボタンを押します。画質／カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

2 受話器を取る



●「ツー」という音を確かめます。

3 登録 **を押し、** ◎ **で「チャクシン キロク」を選ぶ**

<トウロク>
4：チャクシン キロク

4 決定 FAXスタート **を押す**

<チャクシン キロク>
イケダ サトシ

●最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。（親機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。）

5 ◎ **で選んだあと、** 決定 FAXスタート **を押す**

● ◎ を押すと１件古い着信記録が選択されます。
● ◎ を押すと１件新しい着信記録が選択されます。

6 相手の方が出たら、ファクスを送ることを伝えて 決定 FAXスタート **を押す**

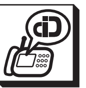
●このあと受話器を戻します。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら**
（☞140ページ）

■ **子機で着信記録を使ってファクスを送るときは**
子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。
① 親機で原稿ガイドを合わせ、原稿をウラ向きにセットする
② ◎ を２回押す
③ ◎ で相手の方を選ぶ
④ 通話 を押す
⑤ 相手の方が出たら、ファクスを送ることを伝えて 機能 を押す（相手の方とお話しないときは、そのまま電話がつながったら 機能 を押す）
⑥ 充電器に戻す

お知らせ
● 着信記録を使ってファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。



着信記録を電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を電話帳に登録することができます。

着信記録を親機の電話帳に登録する

操作のしかた

1 登録 を押し、 で「チャクシン キロク」を選ぶ

<トウロク>
4：チャクシン キロク

2 決定 FAXスタート を押す

<チャクシン キロク>
09087654321

3 で登録する番号を選ぶ

● を押すと１件古い着信記録が選択されます。

● を押すと１件新しい着信記録が選択されます。

4 登録 を押す

アイテメイ トウロク カ ナ

5 名前を入れる（最大20文字）

アイテメイ トウロク カ ナ
ミウラサオリ

6 決定 FAXスタート を押す

トウロク シマシタ

●親機の電話帳に登録されます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **文字を入力するときは**（☞54～55ページ）

■ **親機の電話帳の内容を１件ずつ消すときは**（☞53ページ）

着信記録を子機の電話帳に登録する

操作のしかた

1 を２回押す

0312345678
着信記録

2 で登録する番号を選び、機能 を押す

ナマエ?
カナ

● を押すと１件古い着信記録を表示します。

● を押すと１件新しい着信記録を表示します。

3 名前を入れる（最大12文字）

ミウラ サオリ
カナ

●名前の入力を省略するときは機能ボタンを押すと登録を完了します。

4 機能 を押す

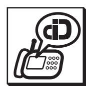
ノコリ 16

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

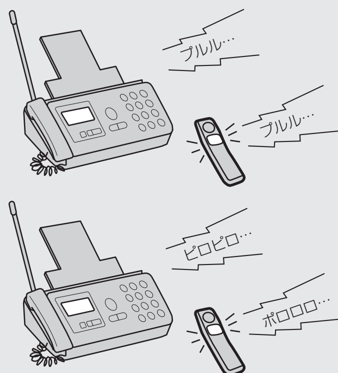
■ **子機の電話帳の内容を消すときは**（☞58ページ）

■ **文字を入力するときは**（☞59～60ページ）



着信鳴り分けを利用する

NTTのナンバー・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、親機では、「親機の電話帳に登録されている相手の方」からの着信に合わせて呼出音を変えることができます。子機では、「子機の電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」からの着信に合わせて呼出音を変えることができます。はじめは、親機は「2：ナシ」、子機は「カイジョ」に設定されています。



着信鳴り分けを設定していない相手の方のとき

親機では、30ページで設定した呼出音が鳴ります。
子機では、31ページで設定した呼出音が鳴ります。

着信鳴り分けを設定した相手の方のとき

親機では、親機の電話帳に登録されている方のみ下記で設定した呼出音が鳴ります。
子機では、着信の種類に合わせて119ページで設定した呼出音が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押し、 で「サービス　リヨウセッテイ」を選ぶ

```
<トウロク>
8：サービス リヨウセッテイ
```

2 決定/FAXスタート を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ



```
<サービス リヨウセッテイ>
1：ナンバーディスプレイ
```

3 決定/FAXスタート を押し、「チャクシン　ナリワケ」を選ぶ



```
<ナンバーディスプレイ>
1：チャクシン ナリワケ
```

4 決定/FAXスタート を押し、 で「アリ」を選ぶ

```
<チャクシン ナリワケ>
1：アリ 2：ナシ
```

● 「ナシ」を選び決定／FAXスタートボタンを押すと「親機の着信鳴り分け」を解除します。

5  決定/FAXスタート を押す

```
アリ ニ シマシタ
```

● 「アリ」に設定されます。

6  停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

 停止 を押します。

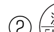
■ **1つ前に戻るときは**

 を押します。

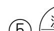
■ **親機の鳴り分け時の呼出音を選ぶときは**

① 登録 を押し、 で「サービス　リヨウセッテイ」を選ぶ。

② 決定/FAXスタート を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

③  決定/FAXスタート を押し、 で「ナリワケ　ヨビダシオン」を選ぶ

④  決定/FAXスタート を押し、で呼出音を選ぶ
選ぶことのできる呼出音の種類は、通常の親機呼出音と同じです。（☞30ページ）

⑤  決定/FAXスタート を押す。

⑥  停止 を押す



お知らせ

● かかってくる相手の方ごとに呼出音を変えることはできません。



子機の鳴り分けを設定する／呼出音を選ぶ

子機では、「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の４項目ごとに呼出音を変えることができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します

1 機能 を押し、▲▼ で「チャクシンナリワケ」を選ぶ

チャクシンナリワケ

2 機能 を押し、▲▼ で鳴り分けをしたい項目を選ぶ

● 「デンワチョウ」「ヒツウチ」「コウシュウデンワ」「ヒョウジケンガイ」の４項目から選べます。

3 機能 を押す

▲▼:ネイロセンタク

●すでに設定している場合は、設定している呼出音が鳴ります。

4 ▲▼ で呼出音を選ぶ

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。（曲名は表示されません。）

呼出音の種類		
	01	「プルルル　プルルル」
	02	「ポロロロ　ポロロロ」
	03	「ピロン　ピロン」
	04	「ショートメロディ①」
	05	「ショートメロディ②」
	06	「展覧会の絵」
	07	「エリーゼのために」
	08	「のばら」
	09	「春」
	10	オリジナルメロディー（※）

※「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）」（☞99～102ページ）で登録すると、選ぶことができます。

5 機能 を押す

● 「ピー」と鳴って着信鳴り分けが設定されます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

■ **子機の着信鳴り分けを解除するときは**

操作のしかた 手順４で、「ピピッ」と鳴るまで ▲▼ を押して、機能 を押します。

■ **オリジナルメロディーを作るときは**
(☞99～102ページ)

お知らせ

● かかってくる相手の方ごとに鳴り分けを設定することはできません。



着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

電話がかかってきたときに、「非通知の電話」「公衆電話／表示圏外からの電話」など着信の種類に合わせて、お断りのメッセージを流すことができます。こちら側では呼出音は鳴りません。
お買いあげ時は「ナシ」に設定されています。

お断りに設定すると

「非通知お断り」のとき

[相手側]

「この電話は、お受けすることはできません。おそれいりますが電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど電話番号を通知しておかけ直しください。」



※お断りのメッセージが３回流れたあと電話が切れます。

[こちら側]
呼出音は鳴りません。



「公衆電話／表示圏外お断り」のとき

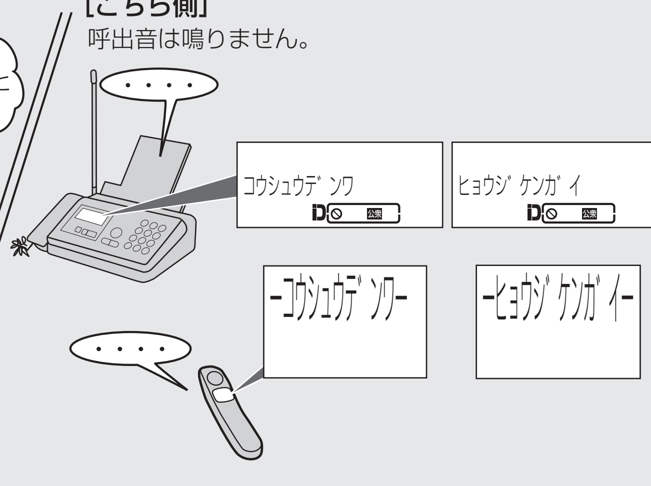
[相手側]

「この電話は、お受けすることはできません。」



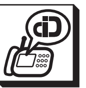
※お断りのメッセージが３回流れたあと電話が切れます。

[こちら側]
呼出音は鳴りません。



お知らせ

● お断り応答にしたときは、緊急の用件でも呼出音が鳴りませんのでご注意ください。



非通知お断りや公衆電話／表示圏外お断りを設定する

操作のしかた

1 登録 を押し、 で「サービス リヨウセッテイ」を選ぶ

<トウロク>
8：サービス リヨウセッテイ

2 決定FAXスタート を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

3 決定FAXスタート を押し、 で設定したいお断りを選ぶ

非通知お断りを選んだとき

<ナンバーディスプレイ>
4：ヒツウチ オコトワリ

「ヒツウチ オコトワリ」：
非通知お断りを設定します。
「コウシュウ／ケンガイ」：
公衆電話／表示圏外お断りを設定します。

■ **非通知や公衆電話／表示圏外お断りを特定の時間帯のみお使いになるときは**

下記の操作で、お断りをご利用になる時間帯を設定します。
設定後は、「非通知お断りや公衆電話／表示圏外お断りを設定する」の操作で、お断りの設定を「ヤカンノミ」にしてください。

① 登録 を押し、 で「サービス リヨウセッテイ」を選ぶ
② 決定FAXスタート を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ
③ 決定FAXスタート を押し、 で「ヤカンジカンセッテイ」を選ぶ
④ 決定FAXスタート を押し、ダイヤルボタンで、お断りの開始時間を2ケタ入力する（24時間制）
お断り開始･解除時間は1時間単位の設定になります。
⑤ ダイヤルボタンで、お断りの解除時間を2ケタ入力する
⑥ 決定FAXスタート を押す
お断りを使用する時間帯が設定されます。
⑦ 停止 を押す

4 決定FAXスタート を押し、 で「オコトワリ」を選ぶ

非通知お断りを設定したとき

<ヒツウチ オコトワリ>
2：オコトワリ

「ナシ」：
お断りを使用しません。
「オコトワリ」：
お断りメッセージを流して、電話を切ります。
「ヤカンノミ」：
設定した時間帯のみ、「お断り」の動作をします。（はじめは22：00～06：00に設定されています。
設定のしかたは、「非通知や公衆電話／表示圏外お断りを 特定の時間帯のみお使いになるときは」をご覧ください。）

5 決定FAXスタート を押す

非通知お断りを設定したとき

オコトワリ ニ シマシタ
非通知

6 停止 を押す

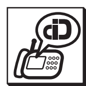
● 「オコトワリ」にしたときは相手の方には呼出音が2回鳴ったあと、メッセージが3回流れて電話が切れます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
 を押します。

お知らせ

● 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、呼出音はこちら側では鳴りません。
● コピー中や受信メモリーをプリントしているときに非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたときは、相手の方に呼出音が鳴ります。プリントが終わったあと、相手の方にお断りのメッセージが流れます。
● 非通知や公衆電話／表示圏外お断りを設定しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
● 親機の日付・時刻の設定（☞22、23 ページ）が正しく合っていないと、「ヤカンノミ」のお断りは正しく動作しません。

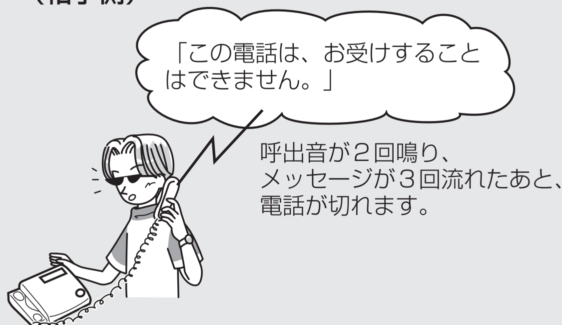


特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

登録したお断り番号の相手の方から電話がかかってきたとき、お断りのメッセージを流すことができます。

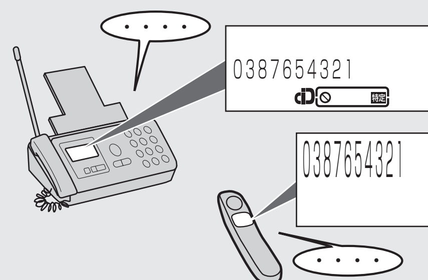
お断りする番号を登録したときは

（相手側）



（こちら側）

呼出音は鳴りません。



お断りしたい番号を登録する

操作のしかた

1  登録 を押し、上下ボタン で「サービスリヨウセッテイ」を選ぶ

<トウロク>
8：サービス リヨウセッテイ

2 決定/FAXスタート を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

<サービス リヨウセッテイ>
1：ナンバーディスプレイ

3 決定/FAXスタート を押し、上下ボタン で「オコトワリバンゴウ」を選ぶ

<ナンバーディスプレイ>
6：オコトワリバンゴウ

4 決定/FAXスタート を押し、上下ボタン で「トウロク」を選ぶ

<オコトワリバンゴウ>
1：トウロク 2：ショウキョ

5 決定/FAXスタート を押し、登録番号（2ケタ）を入れる（00～29）

<オコトワリバンゴウ>
オコトワリ NO.＝00

●番号を入れまちがえたときは、キャッチ／消去ボタンを押して手順４からやり直します。

6 電話番号を入れる（最大20ケタ）

<オコトワリバンゴウ>
NO.＝0312345678

●電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。市外局番を登録しないと通常の着信となり、呼出音が鳴ります。
●番号を入れまちがえたときは、キャッチ／消去ボタンを押して、もう一度入れ直します。

7 決定/FAXスタート を押す

トウロク シマシタ

●手順５の登録番号入力から、手順７までをくり返して、最大30件までの番号を登録できます。

8 停止 を押す

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

◀ を押します。(番号入力時は、キャッチ/消去 を押すと戻ります。

■ **登録したお断り番号を1件ずつ消すときは**

① 登録 を押す

② ▲▼ で「サービス　リヨウセッテイ」を選び、決定FAXスタート を押す

③「ナンバーディスプレイ」を選び、決定FAXスタート を押す

④ ▲▼ で「オコトワリバンゴウ」を選び、決定FAXスタート を押す

⑤ ▲▼ で「ショウキョ」を選び、決定FAXスタート を押す

⑥ 消去する登録番号（00〜29）を入れる

⑦ 決定FAXスタート を押す

（続けて他の登録番号を消すときは、⑥〜⑦をくり返す）

⑧ 停止 を押す

■ **登録したお断り番号をプリントして確かめる**

記録紙がセットされていることを確認する

① 登録 を押す

② ▲▼ で「インサツ」を選び、決定FAXスタート を押す

③ ▲▼ で「オコトワリバンゴウリスト」を選ぶ

④ 決定FAXスタート を押す

（特定番号のリストが印刷されます。）

お知らせ

● お断りする番号を登録したときは、緊急の用件でも呼出音が鳴りませんので、ご注意ください。

● お断り番号の登録（最大30件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。

● 迷惑電話拒否機能（☞97〜98ページ）を使用したときの電話番号は、自動的にお断り番号に登録されます。

● お断り番号を登録しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。

● お断りする番号からの呼出があった場合の相手側に聞こえる呼出音の回数は2回です。変更することはできません。